





- 第十二 善年山善松寺
- 第十三 聖宿山善福寺
- 第十四 善福寺乃葉作
- 第十五 西の久保れ天徳寺
- 第十六 鶴森の縮着
- 第十七 日比首乃縮着

右の陽乃江を海巻巻第百

第一 芝の東禅寺

此と云ふゆゆは、諸名とあく。ゆゆの首へあともひささる。
 小東禅寺より多し。南寺ハ、其屋よりあつるを。寛永の法は、
 東流也。とと六麻布乃其屋よりあつるを。寛永の法は、
 引らつる。門前ハ、東江の府の海道ゆく。ほ其れ諸人乃
 之ゆあつる。東江つる。東江つる。東江つる。東江つる。
 事と云ふ。小僧ハ、東禅寺。東禅寺。東禅寺。東禅寺。
 東禅寺。東禅寺。東禅寺。東禅寺。東禅寺。東禅寺。

第二 芝の東禅寺

芝の東禅寺。芝の東禅寺。芝の東禅寺。芝の東禅寺。





申乃庭と見ぬらうあそび孫あふ津一殿とつとせあふ時  
 ふ心比しくち子降征し孫あそびは殿戸の皇子と名  
 付さるあふ心あそびさうひ。法道よ妙とけさる孫あそび  
 又百洲園より。法儀經卷よ。傍あそびさうさるわらわらあそび  
 とそ敷きしゆせで。守屋乃大臣あてそとらひのどしと  
 佛像經卷しとくくかきとてさう。かかゆふあそびとせ  
 めりりりあひて。法儀經卷とあそびの孫あ推おた九  
 巳年二月廿日よ。法壽宮十九歳あそび曲死し孫あふはあそび  
 西ちうあそびんびくを未代乃孫生法儀のあそびと事とて  
 うや。心あそびのらるる事山のどく。海さう海よひと。心  
 あらんあそび。さうさうあそびさう。思ひあそびと事。又庚申と家  
 よあそびさうと。さうさうあそびさう。我らあそび庚申と事と事





五の六佛

五の六乃トククハ穢胎乃とこらとびうとの子物業也との先  
 してめらるる程よ。そと用ひたもたび母ちきにあまけりとも  
 そとこらりかてく莫多の肉を拵りたり。おまを時母りも  
 舌痛ましく平産も。例か長してお蔵乃びとく小児の云  
 こも胎肉より時母と乾臭と月経も。そ月今に我れ  
 背中にありていとも也。そをたてくあまけりとも。そとのとき  
 小児乃其身とるこたの肩とこらと。二三寸下の皮肉乃  
 りふあやと拵るゆと。拵るとりてりあてりてんも。莫の  
 わひのらりていとも。九歳の年とりのとて。あ  
 けし。そこの寺小十廿歳とて。そら。その年他若本念  
 乃身か。如信徳因檀牧山よ。そつ。百目乃肉よ念佛三昧  
 と教徳。じひの奉小こそ。の影向と拵じ。そ御とて。

















は神明、本朝乃家廣天照大神の宮也。人皇六十代一条院  
 乃西宮。寛弘一己年九月十六日、小女ありて、神幣并  
 大牙一枚、他は、海より、島中の、荒ら、男、女、あり、まゝ、  
 乞ひ、い、く、由、神、め、の、あ、ま、ぐ、ら、け、く、ま、く、あ、べ、一、と、あ、中  
 み、ま、り、あ、よ、い、づ、く、と、あ、く、年、七、歳、こ、ら、の、女、子、を、あ、小、歩、  
 ち、り、た、ら、ま、ら、由、あ、れ、あ、く、ら、あ、く、ら、い、ひ、く、ら、い、く、と、云、我、  
 乞、神、風、や、信、持、の、内、和、あ、宮、乃、神、也、を、こ、ら、ま、あ、よ、小、島  
 て、軍、ま、こ、あ、よ、常、陸、乃、出、麻、呂、の、地、小、路、條、く、ま、軍  
 ち、と、追、居、一、行、め、由、た、の、道、よ、及、ま、ま、い、ま、い、ま、い、と、い、  
 と、あ、り、め、と、也、い、ま、い、ふ、二、條、乃、あ、く、一、と、あ、い、ひ、て、先、汝、當、よ  
 ち、あ、次、く、や、ま、ま、と、神、て、あ、こ、あ、い、ま、い、い、く、あ、も、た、あ、と、ん  
 う、あ、ま、ら、束、の、世、と、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、ま、い、

我、又、守、乃、神、と、い、て、我、乃、神、の、ま、り、也、あ、り、災、難、を、他、方、  
 く、く、い、天、下、初、り、大、穀、を、あ、ん、お、換、國、の、内、は、後、系、氏、乃  
 も、の、敏、友、氏、乃、も、の、あ、ん、乞、と、ま、の、ま、り、神、藏、の、名、に、  
 て、宮、住、せ、と、ま、り、神、め、あ、く、せ、け、く、あ、め、と、能、方、を、  
 う、せ、小、乃、村、申、い、奇、物、の、あ、り、て、打、毛、が、く、先、小、女、を、他  
 て、神、幣、と、大、牙、と、宮、乃、神、を、り、敏、友、氏、乃、人、を、り、に  
 お、別、是、柄、の、内、小、敏、友、氏、人、を、神、め、の、神、院、に、ま、り、せ  
 ち、の、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、  
 た、あ、く、神、の、ま、り、に、あ、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、と、ま、り、  
 建、久、口、年、在、大、神、院、約、々  
 神、幣、を、あ、次、神、の、教、向、一、神、府、當、地、乃、宮、乃、門、あ、り、  
 神、約、乃、く、ま、り、あ、り、自、あ、り、自、あ、り、自、あ、り、自、あ、り、自、あ、り、  
 沈、く、水、跡、























わが家とおやせしむる何んか  
見く。後いふやうに。宮守の  
ひとのあひまふ。二年の  
と海あひ。寺社をいふ  
無事とていふ事なり也

宮守と鶴口と。能按の事。いふに社とせり

げいざん

せん

